関西慶應寮和会新聞　第18号

発行日：2016年6月11日　広報室　松永修

小雨がぱらつく週末でしたが、5月28日（土）に大阪市内で、関西慶應寮和会第9回定例懇談会が、初めて出席の井内OB 、武部OB 、岡本OB、横山OBや関西以外（東京・香川・広島）から駆けつけて頂いた27名の出席者のもと開催されました。

＜参加者＞敬称略　（27名：部分参加も含む）

白石　英也	（S32経）	山本　恒徳	（S38経）	増田　登	（S40商）
相本　琢郎	（S41法）	酒井　克己	（S42法）	中矢　隆雄	（S47政）
松尾　哲雄	（S47経）	若林　良	（S48医）	三角　竜二	（S49工）
松本　文一郎	（S50文）	鎌田　誠	（S51法）	青嶋　義晴	（S52工）
藤岡　義久	（S52政）	西村　元秀	（S53商）	袖岡　稔	（S55商）
松永　修	（S58工）	阪本　光宏	（S61商）	小堀　誠	（S63商）
井内　達彦	（H04商）	淨住　徹朗	（H05経）	兵藤　公治	（H10理）
脇田　圭吾	（H12総）	宮﨑　博	（H16経）	武部　壮平	（H21法）
岡本　星矢	（H24経）	柿堺　悠	（H24理）	横山　尚明	（H25理）

1.「大坂冬・夏の陣の地」散策

今回は「真田丸はどこにあったか」をテーマに、NHK大河ドラマで人気が高まっている真田幸村とつながりの深い「真田丸ゆかりの地」（右図：コース1）と「大阪城公園内」（コース2）の散策を行い、大坂冬・夏の陣の時代に思いをはせました。

○第1部：「真田丸ゆかりの地」散策

（26名）　13：00～14：20

JR大阪環状線　玉造駅から三班に分かれ、ガイドさんの先導で三光神社（写真1）→どんどろ大師（写真2）→心眼寺（写真2）→円珠庵の順に、巡りました。

太陽・月・星の三光を意味する三光神社は木々の緑に囲まれた宰相山の山上に有り、大坂冬の陣では大阪城の出城＜真田丸＞が置かれました。その際に大阪城から当地まで掘られた抜け穴の一部が、今も社殿の下に残っているそうです。

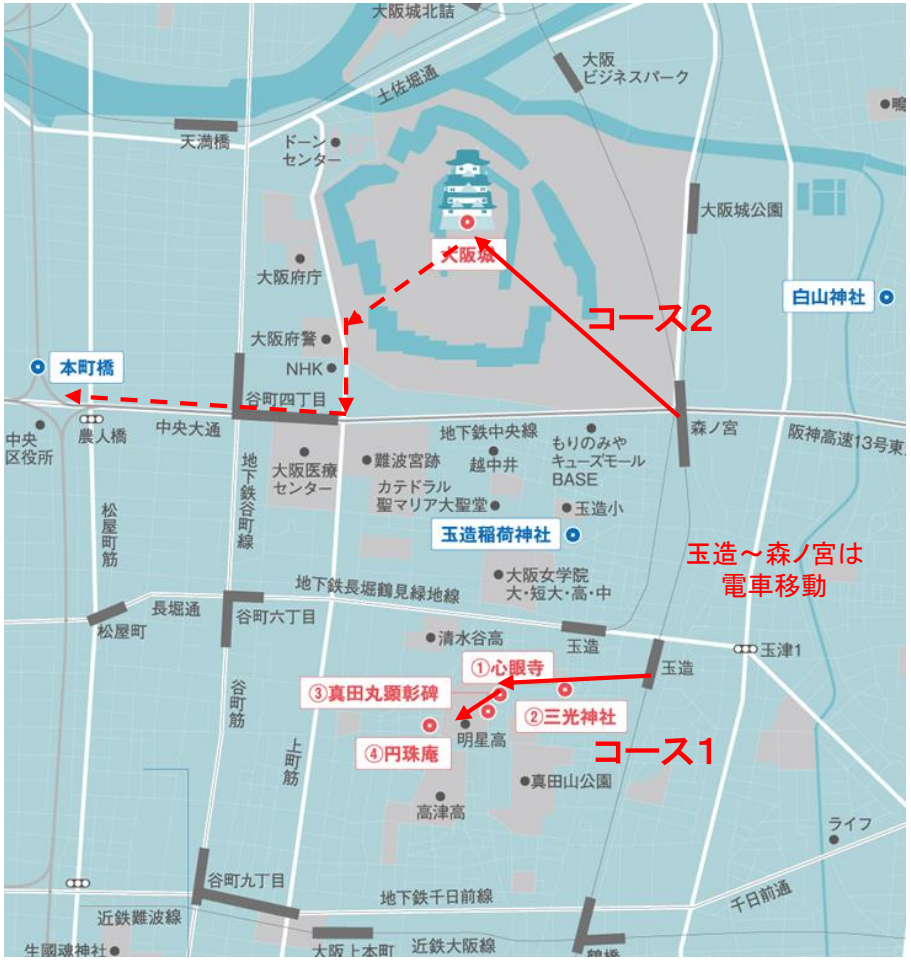

図.「大坂冬の陣ゆかりの地」散策ルート

三光神社の横には、真田幸村顕彰碑（写真3）と抜け穴の出入り口があり、真田幸村の戦場での勇ましい姿が彷彿としてきました。
その後、隣接している陸軍墓地を横断して到着したのが、どんどろ大師（善福寺）。大坂冬・夏の陣の戦死者が弔ってあるそうです。

次に、大阪では珍しい急な坂道（三韓坂と呼ばれている）を登り、白牟上人が真田幸村父子の冥福を祈って建立した心眼寺に到着しました。その心眼寺付近が真田丸が大阪城の出丸として築かれた場所で、南北230m、東西220mの規模でおよそ5000人が立てこもり、徳川方と鉄砲で壮絶な死闘が繰り広げられたということです。

最後に、真田幸村が榎に鎌を打ち込んで大勝祈願をしたとの逸話がある円珠庵（鎌八幡）を散策しました。一部の班では時間都合で円珠庵は省略、残念です。

（参考：てんのうじ観光ボランティアガイド協議会パンフレット）

写真1．三光神社

ここが抜け穴出入り口

写真3．真田幸村顕彰碑

写真2．どんどろ大師と心眼寺

○第2部 「大阪城公園」散策　　（26名）　15:00～16:00

次に、広大な大阪城公園を散策しました。その中では、増野さんらガイドの皆様に、内堀から始まり城内までの案内をしていただきました。（写真4）

城内に入りまず驚いたのが、通路の石垣の巨石。特に、桜門枡形の巨石は、108トンもあるそうで、人力のみでどのような方法で運んできたのか、当時の土木技術の高さには改めて驚かされました。（写真5）

城内で特に詳しく説明して頂いたのが、城の石垣についてでした。石垣は独特の積み方により、極めて強い強度を有しているとのこと。また現在の石垣は大阪城落城後、徳川幕府から各藩に普請を割り当てて再建されたもので、随所に藩章が刻印されており、「何のために刻印をしたんだろう？」と興味深く思いました。（写真6）

散策の途中で、大阪城天守閣をバックに写真撮影。（写真7）

最後に、ガイドの方々にお礼をして、大阪城公園を後にしました。

大阪城のガイドの皆様はボランティアとのこと。有難うございました！！

最後に、近くのNHK大阪放送局に立ち寄り、その後、懇親会場に向かいました。

写真4. 大阪城　ガイドさんから説明

写真5. 桜門枡形の巨石

写真6. 大阪城石垣の刻印

写真7. 大阪城天守閣を背に

〇第3部：懇親会　　（27名）　17：00～19：00

懇親会場は、中央区農人橋の「さしみや」で、恒例となった西村幹事の司会で開催されました。
まず始めに松尾会長のご挨拶で、宴がスタートしました。
次いで、今回新たに参加された平成卒の若手OB4名のご挨拶がありその4名中心に大いに座が盛り上がりました（写真8、9）

最後に皆で「若き血」を斉唱し、全員で記念写真を撮影。（写真10）名残惜しくお開きになりましたが、それでも飽き足らぬ有志は二次会として、カラオケ店に向かいました。

写真8．新メンバーを囲んで（テーブル1）

写真10．宴会のしまいに　全員集合

写真9．新メンバーを囲んで（テーブル2）

2. OFF-TIME

今回インタビューしたのは、新幹事の井内OB（写真7：大阪城写真後列右から3人目）です。

＜趣味のジョギングについて＞

普段まだ子供が小さい(5歳)ため、休日も子供と遊ぶのが主体だが、メタボ予備軍に認定されていることもあり、少し走るようになりました。

練習の頻度は週1～2回、近所の武庫川堤防を数km走っていますが、子供と一緒の時もあり、その時は、散歩～鬼ごっこになってしまいます。

5月には10kmを走り、20年前は、45分ぐらいだったのが、今回は1時間を1分切れませんでした。・・・・残念！

メタボのために保健指導を受けてまして、半年で、5kg痩せることを目標としてます。5kgの体の「荷物(脂肪)」を落とせましたら、来年は、20km(またはハーフ)に挑戦したいと思います。半年は無理かもしれませんが、今年1年かけて、体重を5kg程度落としたいと思ってます。　と結ばれました。

3. 編集後記

今回の散策を通じて、真田丸のあった場所や大阪城の知らなかった部分をかいま見ることが出来、実に奥深いものがあると感じました。

また、歴史を知るには、時代が変わっても現場でその場に身を置き、その場の空気を吸うことが必要であることを、再認識しました。

今回は、平成卒のメンバーが9名も参加して頂け、中にはこの3、4年前に卒業された方もおられます。大先輩との年の差はなんと55歳で、このような年齢差のある会員が集まり、親しく盃を重ねる。同窓会としてこんな素晴らしいことはないと思いました。

今後も幅広い年代の方に来ていただきたいと思いますし、またそうなるように幹事一同、皆様が楽しめる企画を考えていきたいと思います。

次回も皆様のご参加をよろしくお願いします。

〇次回予定日：11月12日(土)　or　11月19日(土)

場所　：「サントリー山崎蒸溜所の見学、大山崎山荘美術館鑑賞
天王山頂・山崎城址散策」

＜都合により、変更の可能性有り＞

末筆になりますが、前会長の由良さんは昨年12月恒例のホノルルマラソンに参加・完走されたあと体調を崩され、現在も病気療養中であります。いち早いご回復を心からお祈り申し上げます。　以上

会員の皆様へ

寮和会会報への寄稿のお願い

広報担当より

寮和会会報（9月発行予定）の特集記事＜寮の思い出＞の寄稿をよろしくお願いします。

なお、前回号（第42号）では、関西慶應寮和会から西村OB（S53商）に下記の題名で寄稿して頂けましたが、題名及び形式については、寄稿者の自由です。

【西村OBの寄稿題名】

日吉寄宿舎は青春時代の恥を共有する貴重な時間と空間だった

寄稿して頂ける方、または寄稿について相談のある方は、松永までご連絡お願いします。（7月末まで）

松永：TEL　075-331-8938、090-6377-0698

・原稿〆切　8月10日